

絵画修復家のアトリエから

加賀優記子 絵画修復家

あけましておめでとうございます。昨年、台風や地震など、自然災害に見舞われた日本列島でした……。

温暖化で地球環境が変化しつつある今、もう私たちはのんびりと今までのような平和な気候の日本だと思っただけではないのかもしれませんが、ついでに大増税の政策を不況の真つ只中（少なくとも大半の人はそう思っているのに）に敢行しそうなコイズミさんもいる事だし、目覚めよ、日本人！って感じですね。

日本人っておとなしいなあ、と思ったのはフランスで暮らしてからなのですが……。革命の国の人々は、とにかく行動的。なんでもすぐ大デモにつながる。

北朝鮮の問題でも、今度の増税の事でも、きつとフランスだったらものすごい

事になってたと思う。日本人は、なんだ

かいつも「もう決まっちゃうんだから」って言うムードで、諦めるのが早い気がする。何事も、物事を変えるのは人の強い感情や行動なのに。

ところで……

今日は、昨年お会いしたアメリカのアカリル絵具メーカー「ゴールドン社」社長、ゴールドンさんとの対談について、少し書いておこうかな。

私は、実はあんまり語学は得意ではありません。フランス語はさすがに滞在が長かっただけに日常会話程度は苦しくないのですが、英語となると前日に戸棚から「中学英語文法集」なんて焦って取り出す始末。それよりもどうしたことか、英

語、フランス語に限らず私の脳味噌は、ある一定の時間を過ぎると完全に集中力が途切れて（脳がオーバーヒートするのですね）突然頭の中の言葉が全部*＆amp;+Q?……って言う感じで文字化け状態になる。

ですから、対談のお話をいただいた時には必ず通訳の方をつけてくださいってしつこく念を押してしました。

当日、都内のホテルで会ったゴールドンさんは思ったよりまだお若くて、まるでクマのプーさんみたいに大きくって優しい感じ。良かった、安心した、それじゃあちよつと置いて置こう。「あのうあたし、少しニューヨークにいた事はあるんですが、でもあんまり英語は得意じゃないんです、宜しくお願いします」と英語で上手にしゃべっちゃった。（なんてってこの台詞は得意なんだから。）

そうしたらゴールドンさん、なんだ、あなたしゃべれるじゃん、って感じですが、あなたと英語で爆発的に「我が社の製品」についてお話を始めちゃった！ 仕方がなくとにかく一生懸命私の知りたいことについて尋ねました。

私がルーブルにいた頃、天井画の修復には良くマグナというアクリル絵の具を使用していたのです。これはゴールドン社の製品でした。

マグナは、溶剤で希釈するタイプのもの、色味が少し濁るので、下地色に使うことが多かった。そして、その後、このマグナがどうして濁ったのか、また製品を作るのをおやめになたはどうしてかと聞きました。でもこれは、彼のお父様がお始めになってすべて関わっていらしたので、今の社長さんの彼は全然わからないのだそう。

その代わり、質問の中で、アクリル絵具のか科学的な特徴について本当に良く教えていただきました。

先ほどのマグナのようなアクリル樹脂は、溶剤に溶かす事で樹脂がアモルファス（網状）となり、これは溶剤で溶かすタイプのアクリルニスも同じ状態になる事、水で希釈するタイプのものは水の中で樹脂がコロイド状態で溶液中に浮かんでいて、乾くと樹脂が凝縮して被膜を作る事。ここで私が一番そうなのかあ！とはじめて知ったのは、この2タイプでアクリル樹脂の性質や配合が全然異なる事。

まあ、考えてみたらそうに違いないのですが……。

何処の樹脂を使うのですか？ と聞いたらにこつと笑ってBAS F ってお答えになった。あー、ドイツの。私もBAS F社には大変お世話になりました……。

ベルリンで樹脂の研究をしていた時、お金がないので製品を買えないのです。（何しろ、大量に発注しないといけないので）なんでもなんでも事情を説明してサンプルをくださいあーいって英語のレターを出しました。

そうしたらある日、青い大きなビンにいっぱいその新しく開発したての樹脂を詰めて送ってくれたんです。冷たい慣れない研究機器の立ち並ぶフロアで唯一あつたかいと感じてぎゅつと抱きしめちゃったビンだった。

私はニスに関する研究をしているので、アクリル絵具については研究対象から外れて、というより少し宿題を先送りしていた感があつて、疎かったのです。でも、なんとなく何故マグナが濁っていたか顔料の問題とあわせて考えたと理解できたように思いました。

長さんが一生懸命良い製品を作ろうと修復の学会誌にも論文を発表したり、化学的研究をなさっている事を知り、そうした絵具は是非修復に使ってみたいと、とても思いました。シュミンケの社長さんもそうでしたが、ご自身が製品作りにかかわっている方の話は熱心で、お話していて楽しいです。

あ、でも私の脳はきつかり2時間ととう文字化けが始まりました。しかもやつぱり本当に突然、●△×OPQ……となりで私の事情を知っているアシスタントの人がくくつと笑い出した。やばい！帰ろう。どうもありがとうございました。ゴールドンさん、いっぱい研究していいものを作つて下さいね、（それで私にサンプル下さい）

いいものを作る事、人に伝える事、何かを動かす事、やつぱりそれは情熱で、行動する事なんだって、こうして色々な人に出会うたびに思います。私も、ガンバロウ！ 皆様も、良い一年でありますように。今年もどうぞ宜しくお願い致します。